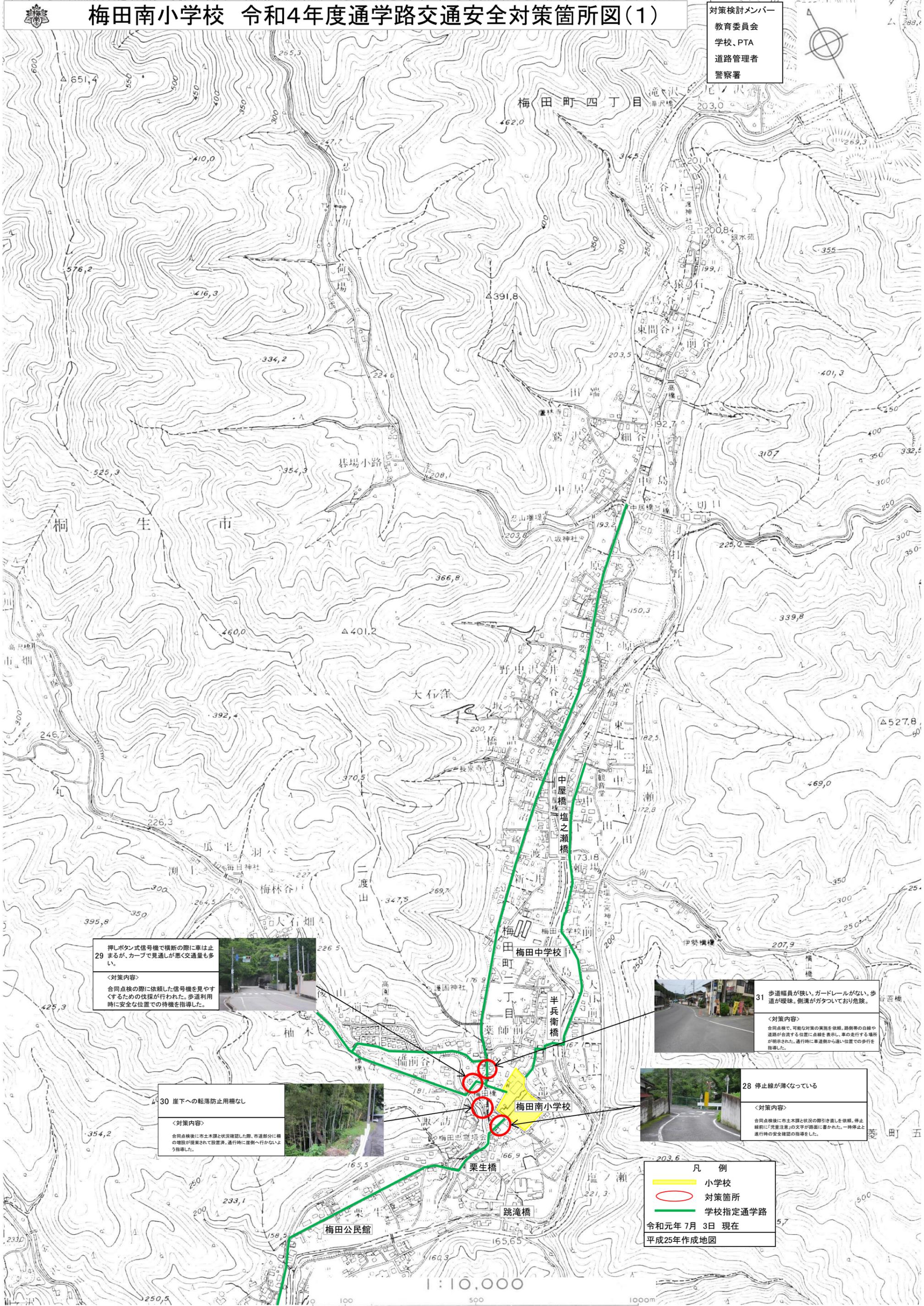




梅田南小学校 令和4年度通学路交通安全対策箇所図(1)

対策検討メンバー
 教育委員会
 学校、PTA
 道路管理者
 警察署



押しボタン式信号機で横断の際に車は止まるが、カーブで見通しが悪く交通量も多い。

<対策内容>
 合同点検の際に依頼した信号機を見やすくするための役職が行われた。歩道利用時に安全な位置での待機を指導した。



31 歩道幅員が狭い。ガードレールがない。歩道が曖昧。側溝がガタついており危険。

<対策内容>
 合同点検で、可能な対策の実施を依頼。路側帯の白線や道路が合流する位置に点線を表示し、車の走行する場所が明示された。通行時に車道側から正しい位置での歩行を指導した。



30 崖下への転落防止用柵なし

<対策内容>
 合同点検後に市土木課と状況確認した際、市道部分に柵の増設が提案されて設置済。通行時に崖側へ行かないよう指導した。



28 停止線が薄くなっている

<対策内容>
 合同点検後に市土木課と状況の確認を依頼。停止線前に「注意」の文字が路面に書かれた。一時停止と通行時の安全確認の指導をした。



凡例

- 小学校
- 対策箇所
- 学校指定通学路

令和元年 7月 3日 現在
 平成25年作成地図

1:10,000